

◆幼児共育ふれあい広場◆

事例1 「花で育むところ～花とあそぼう～」

会 場：村山市子育て支援センター「ぐんぐん」

講 師：木村 聡美 氏（合同会社 アトリエ モモ 代表）

<全体の流れ>

- (1) 花の感触を味わおう、たくさん花を触ってみよう！
- (2) 包み紙に選んだ花の絵を描こう
- (3) 選んだ花の名前はなあに？包み紙に書こう
- (4) 花束を作ろう

<感染防止対策>

- ・ゆとりのある活動スペース
- ・空気の循環、換気 など

<参加者の感想>

- ・ 冬場だと生花に触れる機会が減ってしまうので、今回、いろいろな生花に触れることができ良かったです。
- ・ 「自由に好きに、思うがままに」することの大切さを再確認できました。



事例2 「親子でみそ作り体験」

会 場：山屋セミナーハウス

講 師：中鉢絵三 氏

(はぐくみ保育園栄養士)

<親子体験>

- ・みそ作りを通して、親子の触れ合いを図る。

<感染防止対策>

- ・検温と手指消毒、マスクの着用
- ・テープで親子ごとに分けし、その中で活動した。

<参加者の感想>

- ・ 普段見ることのない手作業ができたり、お友達とのやり取りをみてこんなこともできるんだと感じたりしました。
- ・ 馴染みのある食品の作り方を親子で学べてよかったです。
- ・ 親子で貴重な体験ができました。ちゃんと協力しており子どもの成長を感じました。



事例3 「親子で楽しむ陶芸教室」

会 場：肘折保育所

講 師：鷺畑焼藤右衛門窯 奥村由未氏

<親子体験>

- ・陶芸制作を通して親子のふれあいを図る。

<感染防止対策>

- ・入場時の検温、手指消毒、マスク着用、座席の十分な間隔の確保

<参加者の感想>

- ・ 真剣に楽しそうに陶芸を体験する子どもを見て新しい世界が広がりました。何かに夢中になれるっていいですね。
- ・ 子どもと一緒に考えて何かを作る作業がとても楽しく出来ました。
- ・ 親も童心にかえり、同じ目線で一緒に取り組むことの楽しさを再確認できました。



- ・ 普段体験することが出来ない、良い体験になりました。
- ・ 親子で協力をして物を作るという企画がとても楽しかったです。
- ・ 陶芸教室に参加し、不安でもやらせてみるということが大事だと思いました。
- ・ 見守ることの大切さに気付きました。

事例4 「人形劇を親子で楽しもう！！」

会 場：高島町営第二体育館(なごみこども園)

講 師：有限会社伝究工房劇団バク

<親子ふれあい体験講座>

- 1 手あそび
- 2 歌
- 3 人形劇

<感染防止の工夫>

- ・ 密にならないように親子が座る際、間隔をとった。
- ・ 入場時の検温と消毒
- ・ マスクの着用

<参加者の感想>

- ・ コロナ禍で行事が少ない中で、親子行事を開催してもらい、とてもありがたかった。
- ・ 息子には少し難しかったかなと思ったが、色々引きつける演出で「怖い、光ってる」と、いい意味で刺激になっていたようだ。
- ・ 大人も子どもも楽しめる内容でよかった。



事例5 「赤湯幼稚園夏祭り」

会 場：南陽市立赤湯幼稚園

講 師：HOPE

<親子ふれあい体験講座>

- 1 親子で楽しむ縁日ごっこ
(ボウリング、スーパーボールすくい
くじびき、輪投げ)
- 2 アトラクション
南陽宣隊アルカディオンショー



<感染防止の工夫>

- ・密を避けるために、参加者を園児1名につき、保護者1名までと制限した。
- ・園の施設全体を会場に設定することでゆとりを持たせた。
- ・開催中は、こまめな道具の消毒、マスク着用、順番待ちの待機列において、一定の距離を保つなどの感染防止対策の徹底を図った。

<参加者の感想>

- ・コロナ禍で、お祭りなど中止になる事も多く、縁日のような事もなかなか自宅でする機会もないので、大好きなお友達と一緒に過ごし、よい思い出の一つになったと思う。
- ・アトラクションがとても楽しかったようで、また見たいとずっと話している。
- ・子どもと一緒にまわっていろいろな話ができ、手をつないで距離も縮まった。

事例6 「海辺での遊びを楽しむ」

会 場：大東保育園（鶴岡市）

講 師：齋藤 勝三 氏（由良地域協議会「ゆらまちっく」戦略会議会長）

<親子体験>

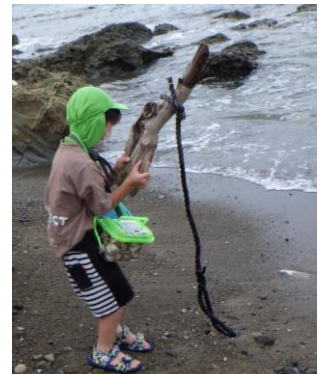
- ・貝やシーグラス拾い
- ・砂浜での造形遊び

<感染防止の工夫>

- ・マスク着用（講師・職員・保護者）

<○参加者の感想・主催者の感想>

- 子どもの目線になって、いろいろ教えたり遊んだりしていただき、とても良いふれあいの場だと思いました。
- 海を見た瞬間の「わあ～！！」が最高にいい顔でした。波が来るだけで「キャー」と盛り上がっていて幸せだなと感じました。
- ・ 貝やシーグラス、流木等に興味を持ち、拾い集めるだけでなく、流木とひもで釣竿に見立ててつりごっこを楽しみ、イメージを広げながら遊ぶことができました。
- ・ 子どもたちから「リサイクル」等の言葉が聞かれ、年齢なりに環境について考えるきっかけ作りになりました。



事例7 「親子で楽しい工作 トランスパレント」

会場：新堀保育園（酒田市）

講師：五十嵐 有紀子 氏

<親子体験>

- ・トランスパレントペーパーを用いて、親子で色の変化や工作を楽しみながら窓飾りを制作する。
- ・みつろう粘土で作ったパイロットを、ふわりととばすパラシュート作り。



<感染防止の工夫>

- ・子ども1名につき、保護者1名の参加
- ・1週間前から毎日の検温・体調チェックを提出

<参加者感想・主催者の感想>

- 考える力、表現する力の発達にとっても良かったと思う。
- 一緒に楽しむことができた。
- 子どもの成長を感じることができた。
 - ・親子一緒に制作することで、保護者に子どもの成長や発想を感じ取ってもらうことができた。
 - ・家庭で生かして遊べる方法も知ることができたので、とても貴重な体験となった。